

# 平成29年度江東区予算案

## ～ 主な事業の紹介 ～



スポーツと人情が熱いまち

# 江東区



## 夢へカウントダウン 新たなステージへのチャレンジ予算

本区は、基本構想に定める区の将来像「みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東」を実現させるために策定した江東区長期計画（後期）に揚げた重点プロジェクトを着実に展開しています。本区特有の人口増加を要因とする学校収容対策や保育待機児童の解消をはじめ、防災対策、子育て・高齢者及び障害者支援、観光・まちづくり、教育、そしてオリンピック・パラリンピック開催への準備など、区政各般にわたり施策の拡充を図ることはもちろん、平成 29 年度も新たな施策を積極的に予算化いたしました。一方で、本区の区政運営やまちづくりに極めて大きな影響を及ぼす「築地市場の豊洲移転整備」や「中央防波堤埋立地の帰属」の重要課題には、区民、区議会のご理解ご協力のもと、本区の揺るぎない強い姿勢を示してまいりました。

今後、世界中から注目を集める本区が魅力溢れる水彩都市としてさらに発展していくためには、確固たる財政基盤の構築や江東区長期計画（後期）で掲げた施策の着実な推進に加え、チャレンジスピリットをもって時代の潮流を捉えた新たな施策を打ち出し、それを推進させることが何よりも重要です。平成 29 年度予算は、「夢へカウントダウン 新たなステージへのチャレンジ予算」とし、一般会計の当初予算規模は 1,996 億 4,200 万円、前年度比 5.8% の増で、一般会計と 3 つの特別会計を合わせた総予算規模は 3,033 億 6,900 万円、前年度比 4.7% の増となり、区政史上初の 3,000 億円台となりました。

今年は旧深川区と城東区が合併し、新たに江東区としての歩みを始めてから 70 年目を迎えます。本区は、これまでの時代の変遷の中で様々な変革を遂げながら着実に発展を続けてまいりました。今後も「スポーツと人情が熱いまち 江東区」のブランドコンセプトを踏まえた魅力あふれるまちづくりの実現と基本構想が目指す「未来の江東づくり」に向け、区民の皆さまとともに将来を見据えた積極的・戦略的な区政運営に取り組んでまいります。



江東区長 山崎孝明

平成 29 年 2 月

# 目次

I	平成29年度予算案について	1
1	予算編成の基本的な考え方	1
2	予算規模	2
3	主な事業の件数と金額	2
II	重点事業（13項目）	3
III	主な事業の詳細（32項目）	
	※ ◎印は重点事業(13項目)	
	※ ★印はオリンピック・パラリンピック関連(9項目)	
1	防災・まちづくり（5項目）	
◎★	1-1 公共サイン統一化へ向けたガイドラインを作成	9
◎	1-2 不燃化特区に防災に資する公園を整備	10
★	1-3 東京五輪会場周辺区道の無電柱化工事を実施	11
	1-4 拠点避難所へクワトロトイレを導入	12
	1-5 拠点避難所と観光スポットにフリーWi-Fiを整備	13
2	子育て・教育（8項目）	
◎	2-1 認可保育所の整備を計画	15
◎	2-2 （仮称）有明北3-1街区認定こども園を整備	16
◎	2-3 （仮称）第二有明小・中学校を新設	17
◎★	2-4 江東区独自のオリンピック・パラリンピック教育を推進	18
	2-5 協力家庭によるこどもショートステイ事業を導入	19
	2-6 全小学校で「江東きっずクラブ」を実施	20
	2-7 平久小・扇橋小・豊洲西小の3校を増築	21
	2-8 小・中学校にタブレット端末を導入	22
3	健康・福祉（7項目）	
◎	3-1 青少年期の悩みに対応するワンストップ相談窓口を設置	25
◎	3-2 区内21か所に地域包括支援センターを開設	26
◎	3-3 区内介護事業所等への就労を支援	27
◎	3-4 障害者・高齢者施設に非常通報装置等の設置費用を補助	28
	3-5 高齢者の徘徊時に役立つGPS端末等を導入	29
	3-6 お部屋探しのサポートを拡充	30
	3-7 地域の課題を区と協働で解決	31

#### 4 緑・環境（3項目）

- ◎★ 4-1 東京五輪会場周辺の区道に遮熱性舗装を実施・・・ 33
- 4-2 資源・ごみ分別アプリを配信・・・ 34
- 4-3 回収した家庭の余剰食品・不用園芸土を再活用・・・ 35

#### 5 産業・生活（9項目）

- ◎★ 5-1 カウントダウンイベントを実施、カウントダウンパネルを設置・・・ 37
- ◎★ 5-2 高校生ジュニアリーダーを海外のボランティア先進都市に派遣・・・ 38
- ★ 5-3 （仮称）江東区外国人おもてなし講座を開講・・・ 39
- ★ 5-4 ことみせ登録店（飲食・物販店）の情報を英語で紹介・・・ 40
- ★ 5-5 ブランディング戦略による区の魅力発信を加速・・・ 41
- 5-6 こうとう情報ステーションをリニューアル・・・ 42
- 5-7 多機能タブレット端末（通訳クラウド・地図システム）を導入・・・ 43
- 5-8 原動機付自転車等にプレミアムナンバープレートを導入・・・ 44
- 5-9 オリジナルデザイン入り婚姻届を作成・配布・・・ 45

### IV 資料編

- 1 歳入・歳出の内訳・・・ 47
- 2 各項目の推移・・・ 48
  - 2-1 一般会計（予算規模）の推移・・・ 48
  - 2-2 歳入（特別区税と特別区交付金）の推移・・・ 48
  - 2-3 歳出の推移・・・ 49
  - 2-4 積立基金と特別区債の現在高の推移・・・ 50
- 3 歳出の抑制・・・ 51
- 4 区民一人あたりの平成29年度歳出予算額・・・ 52

# I 平成29年度予算案について

## 夢へカウントダウン 新たなステージへのチャレンジ予算

オリンピック・パラリンピックの開催など、「未来の江東づくり」の正念場を迎え、チャレンジスピリットをもって時代の潮流を捉えた新たな施策を推進し、夢の実現にむかって区民とともに前進していく予算

### 1 予算編成の基本的な考え方

#### <目指すもの>

- (1) 「2020年東京オリンピック・パラリンピック」、「50万人都市」など、区政史上類を見ない局面にあたり、これを千載一遇のチャンスとしつつ、区民ニーズに的確に応えていくため、過去や前例に捉われることのない斬新な発想、未来をより良いものに変えていきたいというチャレンジスピリットをもった施策を充実させます。
- (2) 少数精鋭の体制においても、多様な行政課題に迅速・的確に対応していくためには、事業の優先順位を見定め、その新陳代謝を活性化させなければなりません。また、社会・経済情勢における目まぐるしい変化への対応や、積み重なる後年度の事業コストなどを考慮し、短期間での終了を予定（サンセット方式）した新たな施策を積極的に取り入れ、機動性の高い行財政運営を展開していきます。
- (3) 税制改正や景気動向の影響を受けやすい歳入環境にあっても、後年度負担に備えた強固な財政基盤を構築するため、「江東区行財政改革計画」（後期）の着実な実施や経費節減など内部努力の徹底のほか、広告事業など職員の創意工夫による歳入確保策を推進し、持続可能で安定的な行財政運営を行っていきます。

#### <将来人口の想定>

江東区長期計画（後期）では、将来人口を次のとおり想定しています。

〔将来人口〕

（単位：千人）

	現 況	推計（平成31年）
人 口	507	521
（うち外国人住民数）	（26）	（24）

（注）現況：住民基本台帳人口（平成29年1月1日現在）

平成31年：推計値（1月1日現在）

※人口には、外国人住民数を含む

#### <行政評価を予算に反映>

929の事務事業について、目的妥当性、有効性、効率性の観点から行政評価を行い、平成29年度当初予算に反映させました。

## 2 予算規模

区分	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率 (%)
一般会計	1,996億4,200万円	1,886億3,800万円	110億400万円	5.8
国民健康 保険会計	631億9,900万円	622億6,100万円	9億3,800万円	1.5
介護保険 会計	313億9,700万円	303億8,600万円	10億1,100万円	3.3
後期高齢者 医療会計	91億3,100万円	84億5,600万円	6億7,500万円	8.0
計	3,033億6,900万円	2,897億4,100万円	136億2,800万円	4.7

## 3 主な事業の件数と金額

事業内容		件数	金額
長期計画に定める 主要事業	施設 (ハード事業)	39件	265億1,300万円
	非施設 (ソフト事業)	19件	53億3,700万円
新たな取組み(主要事業を含む)		48件	69億7,800万円
事業の拡充(主要事業を含む)		33件	126億5,400万円

## Ⅱ 重点事業（13項目）

※★印はオリンピック・パラリンピック関連

### 1 防災・まちづくり（2項目）

- ★ 1 - 1 公共サイン統一化に向けたガイドラインを作成
- 1 - 2 不燃化特区に防災に資する公園を整備

### 2 子育て・教育（4項目）

- 2 - 1 認可保育所の整備を計画
- 2 - 2 (仮称)有明北3-1街区認定こども園を整備
- 2 - 3 (仮称)第二有明小・中学校を新設
- ★ 2 - 4 江東区独自のオリンピック・パラリンピック教育を推進

### 3 健康・福祉（4項目）

- 3 - 1 青少年期の悩みに対応するワンストップ相談窓口を設置
- 3 - 2 区内21か所に地域包括支援センターを開設
- 3 - 3 区内介護事業所等への就労を支援
- 3 - 4 障害者・高齢者施設に非常通報装置等の設置費用を補助





## 4 緑・環境（1項目）

- ★ 4 - 1 東京五輪会場周辺の区道に遮熱性舗装を実施

## 5 産業・生活（2項目）

- ★ 5 - 1 カウントダウンイベントを実施、カウントダウンパネルを設置
- ★ 5 - 2 高校生ジュニアリーダーを海外のボランティア先進都市に派遣

〔再掲〕

## ★ オリンピック・パラリンピック関連（5項目）

- 1 - 1 公共サイン統一化に向けたガイドラインを作成
- 2 - 4 江東区独自のオリンピック・パラリンピック教育を推進
- 4 - 1 東京五輪会場周辺の区道に遮熱性舗装を実施
- 5 - 1 カウントダウンイベントを実施、カウントダウンパネルを設置
- 5 - 2 高校生ジュニアリーダーを海外のボランティア先進都市に派遣



## Ⅲ 主な事業の詳細



# 1 防災・まちづくり

区内の適切な案内誘導のために  
**公共サイン統一化に向けたガイドラインを作成**  
 利用者に分かりやすいサインを目指します

新たな取り組み

事業経費

1,321万円

◆事業内容

公共サイン(公共施設等案内板)統一化に向けたガイドラインと、再配置に向けた整備計画を策定します。

◆目的・効果

- 区民や国内外から本区を訪れる方にとって分かりやすいサインに再整備することで、区内の案内誘導を適切に行うとともに、景観に統一性をもたせることができます。
- 多言語対応や多機能化により、更なる利便性向上を図ります。
- 広告導入を検討するなど、維持管理費の削減を図ります。

◆背景

現在、区が設置している公共サインは、管理する各課でデザイン等が異なっており、その多くが多言語対応も不十分であるなど、環境整備が必要となっています。



地域振興課【大拠点サイン】  
 鉄道駅周辺等に設置している  
 誘導半径約1.2kmの案内板



文化観光課【iサイン】  
 東京都の指針に基づき  
 作成した観光案内板

◆現在の主な公共サイン設置数

地域振興課	328基
文化観光課	21基
その他	283基
合計(11課)	632基

◆他区の状況

23区中10区がガイドラインに沿った整備を実施

◆スケジュール

年度	内容
平成29年度	ガイドライン・整備計画の策定
平成30年度以降	整備計画に沿って、再整備を実施

長期計画の該当項目：施策17 コミュニティの活性化

担当課：地域振興課  
 窓口：4階26番

電話：3647-4962  
 内線：2413

燃えない・燃え広がらないまちづくりを推進  
**不燃化特区に防災に資する公園を整備**  
 地元住民等によるワークショップを通して

新たな取り組み

◆事業内容

事業経費	29年度	5,530万円
	総事業費	9,666万円

不燃化特区(北砂三・四・五丁目地区)内に、地域防災に資する公園を整備します。

◆背景・目的

- 本地区は住宅が密集しており、延焼被害対策としてのオープンスペースの確保や、消防活動を円滑にする防火水槽などの設置・検討が求められています。
- 本区の区民1人当たりの公園面積が8.36㎡に対し、不燃化特区内は0.34㎡と不足しており、住環境の向上に資する公園を整備する必要があります。

◆特色

- 不燃化特区指定後、初めての公園整備(ハード事業)となります。
- 公園整備にあたり、まちづくり協議会をはじめとして住民によるワークショップを開催するなど、地域とともに公園づくりを進めます。
- 移転により現在使用していない保育園跡地を利用して整備します。



地元住民による他区の防災広場視察の様子

◆公園概要

場所	旧小名木川保育園跡地(北砂五丁目21番5号)
規模	敷地面積:約1,156㎡
機能	ワークショップの意見などを踏まえて整備 ※防火水槽、かまどベンチ、マンホールトイレ など

◆スケジュール

年度	内容
平成28年度	北砂三・四・五丁目地区まちづくり協議会設立
平成29年度	旧小名木川保育園解体、ワークショップ開催
平成30年度	公園設計
平成31年度	公園整備、開園



不燃化特区の範囲

長期計画の該当項目：施策32 災害に強い都市の形成

担当課：地域整備課  
 窓口：5階23番

電話：3647-9491  
 内線：2983

良好な景観の創出や防災機能の強化のために  
**東京五輪会場周辺区道の無電柱化工事を実施**  
安全で快適な歩行空間を提供

事業の拡充

事業経費

29年度

5億632万円

◆事業内容

総事業費

15億9,181万円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技会場周辺の区道において、無電柱化工事を実施します。

◆目的

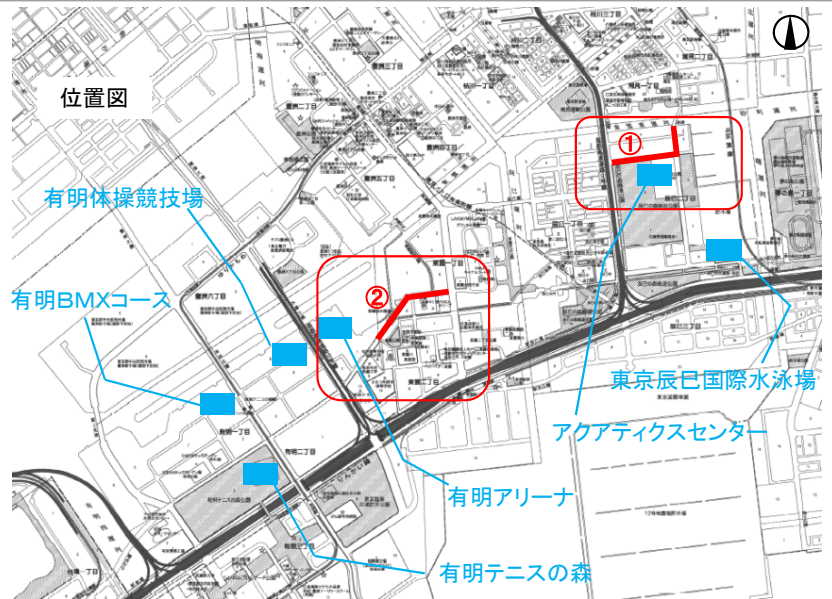
東京2020大会会場周辺の区道において、良好な都市景観の創出や都市防災機能の強化等を図ります。

◆特色・効果

道路の地下空間を利用し、電力線や通信線等をまとめて収容することにより、地上空間の電柱をなくし、安全で快適な歩行空間を確保することができます。

◆整備地区・延長

	地区	延長
①	辰巳地区	522m
②	東雲地区	525m



◆スケジュール

平成29年度	電線共同溝本体設置工事
平成30年度	引込連系管工事、道路本復旧工事
平成31年度	道路本復旧工事

◆背景

東京都も東京2020大会に向け、都道において無電柱化を行っています。区と都が連携し、競技会場周辺の観客の主な動線となる道路を整備していきます。

長期計画の該当項目：施策3-1 便利で快適な道路・交通網の整備

担当課：道路課

窓口：防災センター3階5番

電話：3647-9374

内線：6448



災害発生時のトイレ問題を解消  
**拠点避難所へクワトロトイレを導入**  
 利便性と衛生面の向上を図ります

**新たな取り組み**

事業経費

1,731万円

## ◆事業内容

拠点避難所(※)となる全区立小・中学校に、組立式男性用小便器のクワトロトイレを導入します。

※拠点避難所:避難所の中でも、物資の配給や情報収集などの拠点となる場所

## ◆目的

災害発生時の拠点避難所でのトイレ問題(衛生面・健康面・待ち時間)の解消を図ります。

## ◆クワトロトイレの仕様

特徴	男性4人が同時に使用可能
重量	本体:約28kg、テント:約10kg
寸法(組立時) ※テントを含む	幅1.8m×奥行1.8m×高さ2.4m



クワトロトイレ(イメージ)

## ◆特色・効果

- 既存の仮設トイレは個室のため一人一人の排泄までの時間を要していますが、男性の小便器スペースを分離することで、トイレの待ち時間短縮を図ることができます。
- 組立は簡略であり、設置後に横幕をつけることで周囲へのプライバシーの配慮ができます。

## ◆背景

東日本大震災や熊本地震など過去の災害を見ると、ライフラインが復旧するまでトイレには長蛇の列ができ、水分補給を控えてトイレに行く回数を減らすことで体調不良になる避難者が数多くいるなど、トイレ問題が度々起きています。

## ◆概要

導入時期	平成29年度
場所	拠点避難所(全区立小・中学校)
購入予定数	73基
他区の状況	台東区・豊島区に次ぎ3番目(江東5区(※)では初)

※江東5区:東京都東部に位置する墨田区・足立区・葛飾区・江戸川区・江東区を指す

長期計画の該当項目: 施策33 地域防災力の強化

担当課: 防災課  
 窓口: 防災センター4階1番

電話: 3647-9587  
 内線: 6216

誰でも無償でインターネットに接続！  
**拠点避難所と観光スポットにフリーWi-Fiを整備**  
 情報収集の利便性を高めます

**新たな取り組み**

事業経費

1億1,508万円

◆事業内容

区内の拠点避難所と観光スポットに、電話回線が利用できない場合であっても、誰でも無償で無線LAN接続端末を用いてインターネットに接続できるサービス環境を整備します。

◆目的

- 災害時でも効果的に情報を受発信できることによる安全・安心な生活の実現、及び平常時の利便性向上を図ります。
- 訪日外国人観光客も含めた来訪者の、手軽に情報を入手したいという要望に応えます。

◆効果・特色

- 災害時に拠点避難所で避難者自ら情報収集、安否確認を行えるようになります。
- フリーWi-Fiの検索・接続ができる多言語対応アプリケーション(※)と連携することにより、訪日外国人観光客も簡単にインターネットに接続することができるようになります。
- 国等の補助金(整備費の2分の1)を活用して整備します。

※自治体や交通インフラ(空港、鉄道、バス等)、大型商業施設等が提供するフリーWi-Fiを検索し接続することができるアプリケーション「Japan Connected-free Wi-Fi」による利用を可能とし、東京都や他区との連携利用を可能とする仕組みで導入します。

◆背景

地域の安全・安心の確保や外国人受入れ環境の整備を目的とした自治体によるフリーWi-Fi整備が進んでおり、江東区においても東京2020オリンピック・パラリンピックに向け区への来訪者が増加することが見込まれており、Wi-Fi環境の整備が求められています。

◆概要

時期	平成29年9～10月 サービス開始予定
設置場所	全区立小・中学校(68校)・区内の観光拠点
他区の状況	23区中18区で実施



長期計画の該当項目：計画の実現に向けて(2) スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営

担当課：情報システム課  
 窓口：防災センター5階1番

電話：3647-8664  
 内線：6116

# 2 子育て・教育

子育てしやすいまちを目指して

**認可保育所の整備を計画**

国家戦略特区を活用し、都市公園内に保育所を整備

**新たな取り組み**

事業経費

18億5,222万円

## ◆事業内容

- 保育需要に迅速に対処するため、民設民営による保育施設の整備などにより、約1,000人の認可保育所定員の増を図ります。
- 国家戦略特区を活用し、緑豊かな都立木場公園内に認可保育所を整備します。

## ◆スケジュール

開設時期	所在地	定員数	備考
平成30年4月	計画中	計 約1,000人	平成30年4月の開設に向け、認可保育所を整備 ※ 開設場所、施設数(定員)については、保育需要の状況に応じて決定

## ◆「都立木場公園内保育所」整備概要

## &lt;整備計画&gt;

所在地等 木場4・5丁目  
(木場公園 大横橋口北側)

定員総数 130人

開設時期 平成30年4月(予定)

## &lt;整備スケジュール&gt;

平成28年度 運営事業候補者公募・選定

平成29年度 施設整備工事

平成30年4月 開設(予定)



都立木場公園内保育所 完成イメージ

## ◆平成28年度整備実績(平成29年4月開設)

施設名	所在地	定員数	備考
ナーサリールーム ベリーベアー深川冬木	冬木	200人	首都高速道路株の協力を得て、同社が管理する土地を、区が保育所整備用地として確保
マミー保育園東陽町	東陽二	121人	大規模マンション開発と連携して整備
小鳩保育園 清澄白河	白河三	45人	近年、保育需要が高い白河地区に緊急整備

上記を含めた新規開設する9園をはじめ、既存保育施設の定員構成の見直し等により、1,000人を超える認可保育所定員の増を図りました。

長期計画の該当項目：施策6 保育サービスの充実

担当課：保育計画課  
窓口：3階12番奥

電話：3647-9638  
内線：2791

南部地域における幼児教育・保育需要に対応  
**(仮称)有明北3-1街区認定こども園を整備**  
 民間事業者と協力し、平成32年度の開設を目指します！

**新たな取り組み**

事業経費

— 円

◆事業内容

- 南部地域における年少人口の増加に伴う幼児教育・保育需要増に対応するため、臨海副都心有明北3-1街区に私立の認定こども園を整備します。
- 有明北3-1街区のマンション建設の一環としてマンション建設事業者が整備し、区が寄附を受け認定こども園として活用するもので、公共施設整備協力金(※)から減額する予定です。

※ マンション建設により必要となる公共施設への受入等の対策を講じるために区に納付するもので、公共施設整備に協力した場合は減額する場合あり

◆目的

南部地域における年少人口の増加が今後も続くことが予想されるため、本地域における教育・保育需要に対応し、こどもが安全かつ健やかに成長できる環境を整備します。

◆整備概要

名称	(仮称)有明北3-1街区認定こども園
所在地等	有明二丁目1番の一部(臨海副都心有明北3-1-A街区内)
類型	幼保連携型(幼稚園と保育所の機能を併せ持ち、一体的に運営)
定員・対象年齢	310人(予定)、0~5歳
整備内容(予定)	構造 地上3階建・鉄骨造 延床 園舎 約2,824㎡、園庭 約944㎡ フロア 1階:エントランス、駐車場 2階:職員室、調理室、保育室等 3階:遊戯室、会議室、保育室等
運営主体・方法	学校法人武蔵野大学(予定) 民設民営(園舎等は区が事業者へ貸付)
スケジュール(予定)	平成29年 5月 着工 平成31年10月 竣工 平成32年 4月 開設



認定こども園での教育活動(イメージ)

◆実績(幼保連携型認定こども園)

開設	施設名	所在地
平成23年4月	しののめYMCAこども園	東雲一丁目9番46号
平成27年4月	豊洲めぐみこども園	豊洲六丁目2番30号

長期計画の該当項目：施策9 安心して通える楽しい学校(園)づくりの推進

担当課：学務課  
 窓口：6階2番

電話：3647-9703  
 内線：3328

有明地区の児童・生徒増加に対応  
**(仮称) 第二有明小・中学校を新設**

区内初！施設一体型の小中一貫教育を実施します！

## 事業の拡充

	事業名	29年度	総事業費
事業経費	(仮称)第二有明小学校整備事業	108億9,561万円	179億7,199万円
	(仮称)第二有明中学校整備事業		

## ◆事業内容

- 児童・生徒の増加に対応するため、(仮称)第二有明小・中学校(同一敷地内に併設される「施設一体型」)の新設に向け、着実に工事を進めています。
- 区の地場産業である木材を可能な範囲で使用する“江東区らしい学校施設”とするため、建物の木質化(※1)に加え、区内初の試みとして、建物の一部を木構造(※2)とします。
- 9年間の学びの充実を目指し、区内初となる小中一貫教育を実施することとし、義務教育学校として平成30年4月に開校します。

※1 木質化:建築物の内装及び外装の全部または一部に木材を使用すること

※2 木構造:建築物の主要構造部(柱、屋根、壁、床、梁等)の全部または一部に木材を使用すること

## ◆目的

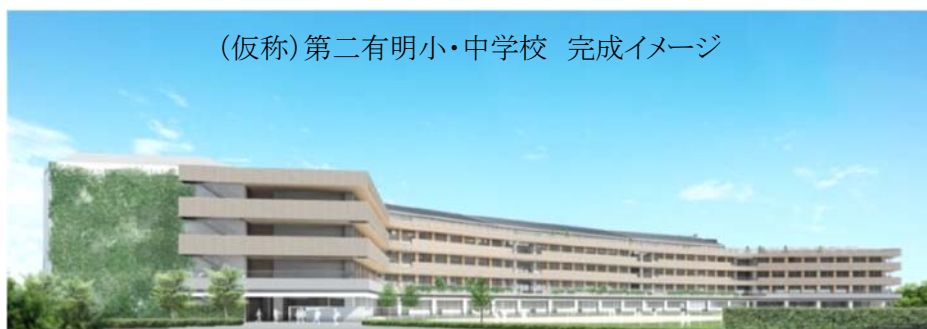
マンション等が急増する有明地区において、児童・生徒の良好な学習環境の確保を図ります。

## ◆整備概要

所在地	有明一丁目7番13号
敷地面積	20,184.66㎡
延床面積	校舎 約25,000㎡
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造及び木構造、5階建て (小学校・中学校 施設一体型)
竣工予定	平成30年2月
開校予定	平成30年4月
その他	普通教室各24学級、特別支援3教室、プール×2、屋内運動場×2、江東きっずクラブ(※)

※江東きっずクラブ:学校施設などを活用し、放課後等に児童が安全で安心して過ごすことのできる居場所・生活の場

(仮称)第二有明小・中学校 完成イメージ



## ◆他区の状況

義務教育学校の設置は  
品川区に続き2例目

長期計画の該当項目：施策9 安心して通える楽しい学校(園)づくりの推進

担当課：庶務課・学校施設課  
窓口：6階1番・6階8番電話：【庶務】3647-8542 【学校施設】3647-9173  
内線：【庶務】3323 【学校施設】3271

中学生の部活動の夢を応援

**江東区独自のオリンピック・パラリンピック教育を推進**

「パナソニックセンター東京」と連携し、五輪の起源などを学びます！

**新たな取り組み**

事業経費

2,023万円

**◆事業内容**

- 東京2020オリンピック・パラリンピックにおいて、全市区町村で最も多くの大会会場が整備(※1)される江東区的环境を生かし、全てのこどもたちの心に残る体験活動を中心とした、「江東区オリンピック・パラリンピック教育推進計画」(※2)に基づく独自の教育活動を実施します。
- 「部活動☆夢応援プロジェクト」として、オリンピック・パラリンピアン等を部活動に招き、生徒がその道の達人から直接指導を受けます。
- 「パナソニックセンター東京」(※3)と連携し、オリンピック・パラリンピックや世界の国々(「世界ともだちプロジェクト」(※4)で担当する国等)についての学習などを行うとともに、区内の競技会場予定地をバスで巡ります。

※1 区内の競技会場配置 オリンピック:11競技 10会場、パラリンピック:8競技 7会場(平成28年12月現在、中央防波堤埋立地内を含む)

※2 江東区オリンピック・パラリンピック教育推進計画:平成29年3月策定予定

※3 パナソニックセンター東京:江東区有明にあるパナソニックグループのショールームで、理数の魅力体感ミュージアム「リスーピア」やオリンピック・パラリンピックについて学べる場を有する施設

※4 世界ともだちプロジェクト:東京2020大会参加予定国を学び、国際交流に発展させる取組で、各小学校5か国、各中学校10か国を担当

**◆事業概要**

	「部活動☆夢応援プロジェクト」	「パナソニックセンター東京」 との連携教育・競技会場巡り
対象	中学校の部活動(運動部・文化部)	小学校5・6年生
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 部活動単位で部活動に対する「夢」を募集</li> <li>○ 各校の代表者により、区長へのプレゼンを行い、意見交換会を実施</li> <li>○ 部活動にオリンピックや専門家を招き、直接生徒を指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「パナソニックセンター東京」にて実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリンピック・パラリンピックの基礎学習(起源や聖火などについて)</li> <li>・ ICTを活用した異国文化の学習・体験</li> <li>・ パラリンピック競技の体験 など</li> </ul> </li> <li>○ 区内の競技会場予定地巡り</li> </ul>
実施場所	区立中学校(23校) (毎年、各校1部活動で実施)	○ パナソニックセンター東京(有明3-5-1)

**◆他区の状況**

「オリンピック等による部活動指導」及び「パナソニックセンター東京との連携教育・競技会場巡り」は23区初



オリンピック・パラリンピック等について楽しく学べる「パナソニックセンター東京」

長期計画の該当項目: 施策8 確かな学力・豊かな人間性・健やかな体の育成

担当課: 指導室  
窓口: 6階4番

電話: 3647-9179  
内線: 3386

一時預かりによる子育て世帯への支援

## 協力家庭によるこどもショートステイ事業を導入

対象年齢、定員の拡大で利用しやすい環境に！

### 新たな取り組み

事業経費

485万円

#### ◆事業内容

入院や出産・育児不安など保護者の事情によりこどもを養育することが一時的に困難な場合や、児童虐待の防止を図るために、宿泊を伴ってこどもを預かる「こどもショートステイ事業」について、今回新たに、個人の「協力家庭」宅でも事業を実施します。

#### ◆背景・目的

- 現在は、1施設(パークサイド亀島)でショートステイ事業を行っています。
- 転入や核家族化の進展などにより、子育てが周囲から孤立した「孤育て」になっている家庭が少なくないため、こどもを一時的に預かることで、保護者の不安や負担感を軽減し、社会全体で子育てを支えていく必要があります。
- 現在の施設型ショートステイの定員は一日3名ですが、近年利用者が増えていることから、新たに協力家庭においても事業を行うことで、受け入れ児童数を増やします。

#### ◆「協力家庭」概要

	協力家庭	【参考】施設型
運営	協力家庭員への委託	社会福祉法人への委託
対象	1歳～中学校3年生	2歳～12歳
定員	1世帯あたり4人まで	3人
日数	最長6泊7日	
利用料	一日3,000円	



#### ◆「協力家庭員」について

- 区内在住の夫婦であること、居室が2室10畳以上あり、家族構成に応じた適切な広さが確保されていることなどの一定の条件を満たした方です。
- 家庭訪問による面接や区が行う研修を受講後に登録していただきます。
- 協力家庭員として、3名程度の登録を予定しています。

#### ◆特色・効果

- 一般の家庭で預かることで、より家庭的な環境でこどもを預かることができます。
- 兄弟関係や集団生活に馴染めないなど、こどもの状況に合わせて、現在実施している施設型ショートステイと協力家庭で受け入れの調整ができます。

長期計画の該当項目：施策11 地域ぐるみの子育て家庭への支援

担当課：子育て支援課  
窓口：3階15番

電話：3647-4407  
内線：2710



こどもたちに安全で安心な居場所・生活の場を提供

## 全小学校で「江東きっずクラブ」を実施

計画を2年前倒して全校実施を達成しました！

### 事業の拡充

事業経費

16億6,516万円

### ◆事業内容

平成22年度から開始し、現在39校で実施している「放課後子ども教室機能」(A登録)※1と「学童クラブ機能」(B登録)※2との連携・一体化事業「江東きっずクラブ」について、平成29年度は新たに6校で開設し、全小学校(45校)で実施します。

※1 A登録:空教室を利用し、安全で安心な児童の放課後等の自主的な遊び・学びの場を提供

※2 B登録:就労世帯等の児童に対して、保護者に代わり放課後等の生活の場等を専用室で提供

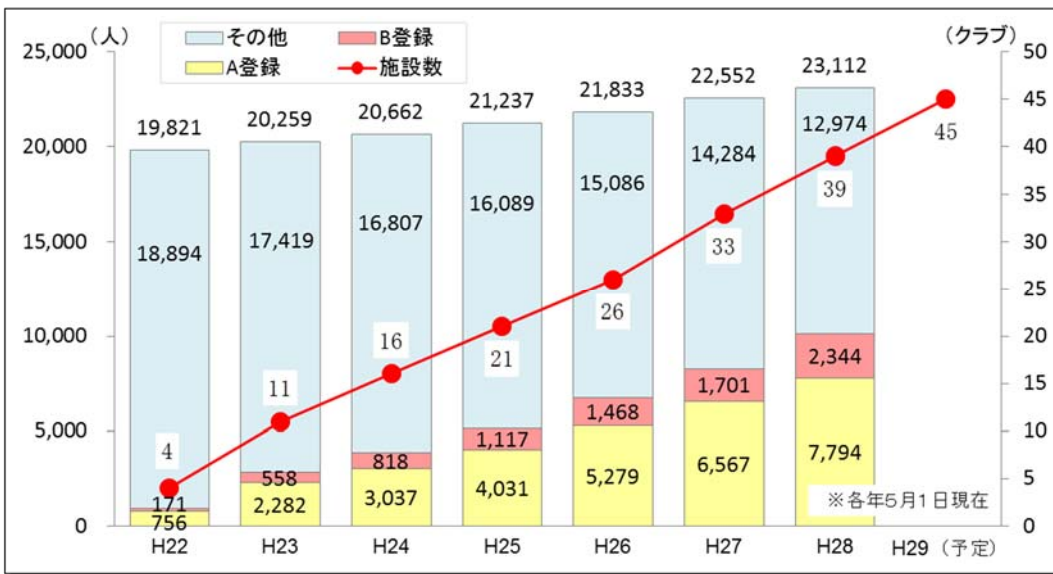
### ◆目的

共働き家庭等の「小1の壁」の不安を解消するとともに、すべての児童が多様な体験・活動を行うことができるよう、学校施設を活用し、放課後等に安全で安心して過ごすことのできる居場所・生活の場を提供します。

### ◆効果・特色

- 平成31年度までに全校実施する計画を2年前倒し、平成29年度に全校実施を達成します。
- 平成28年5月時点で、区立小学校児童23,112人のうち、A登録は33.7%、B登録は10.1%となっています。
- 45クラブ中、37クラブを民営で実施し、民間の発想による柔軟な事業展開を行います。
- 平成28年度に実施したアンケートでは、A登録83.5%、B登録92.8%が「とても楽しい・まあまあ楽しい」と評価されました。

### ◆「江東きっずクラブ」の推移(きっずクラブ数・登録者数、区立小学校児童数の推移)



安全・安心な居場所・生活の場

長期計画の該当項目：施策12 健全で安全な社会環境づくり

担当課：放課後支援課  
窓口：6階10番

電話：3647-9308  
内線：3341

増加する児童への対応

**平久小・扇橋小・豊洲西小の3校を増築**

集合住宅の建設に伴う児童の学習環境の確保に向けて！

**新たな取り組み**

事業 経費	事業名	29年度	総事業費
	平久小学校増築事業	3,345万円	5億6,287万円
	扇橋小学校増築事業	3,402万円	4億9,272万円
	豊洲西小学校増築事業	0円	21億4,843万円

**◆事業内容**

- 区内の集合住宅の建設に伴う児童の増加に対応するため、平久小学校・扇橋小学校の校舎の増築計画を進め、平成32年4月からの使用開始を目指します。
- 豊洲地区の児童の増加に対応するため、豊洲西小学校の校舎の増築計画を進め、平成34年4月からの使用開始を目指します。
- 豊洲西小学校の増築用地(既存敷地の北側:約2,600㎡)は、開発事業者から譲渡を受ける予定です。

**◆目的**

区内の集合住宅の建設が進むことから、児童の良好な学習環境の確保を図ります。

**◆整備概要**

学校名	所在地	スケジュール	
平久小学校	木場一丁目2番2号	平成29年度 平成30～31年度 平成31年7月	実施設計 工事 竣工
扇橋小学校	石島18番5号	平成29年度 平成30～31年度 平成32年3月	実施設計 工事 竣工
豊洲西小学校	豊洲五丁目1番35号	平成28年度 平成30年度 平成32～33年度 平成33年11月	基本計画 実施設計 工事 竣工



豊洲西小学校(現況)

長期計画の該当項目：施策9 安心して通える楽しい学校(園)づくりの推進

担当課：学校施設課  
窓口：6階8番電話：3647-9173  
内線：3271

学習意欲の向上、主体的に探求する手段の充実

**小・中学校にタブレット端末を導入**

ICT機器を利用した視覚的にわかりやすい授業を展開します！

**新たな取り組み**

## 事業経費

小学校コンピューター教育推進事業	1億5,636万円
中学校コンピューター教育推進事業	7,992万円

## ◆事業内容

- 区内小・中学校に無線LAN環境を整備し、タブレット端末を導入します。
- 授業での利活用を促進するため、ICT支援員による巡回支援(教員の指導など)を行います。

## ◆目的

小・中学校においてタブレット端末や電子黒板等のICT機器を利用して、児童・生徒の興味や意欲を引き出す授業、わかりやすい授業づくりを推進していきます。

## ◆効果

- ICT機器を導入することにより、視覚的にわかりやすい授業を行うことができます。
- 児童・生徒一人ひとりの状況に応じた指導をすることができます。
- 児童・生徒の学習に対する意欲や、ICTスキルの向上につながります。
- 児童・生徒の主体的に探求していく際の手段が広がります。

## ◆導入の経緯

- 平成28年度に有線LANを小・中学校の普通教室・特別教室等に配備しました。
- 平成26年9月～平成28年8月に行ったモデル事業(小・中学校各1校において無線LAN環境下でタブレット端末を利用)の検証の結果、ICT機器の導入は、児童・生徒の興味や意欲を引き出す授業、わかりやすい授業づくり等に有効であることが確認できました。

## ◆規模

環境	アクセスポイント:各校14台
タブレット	各校45台 (小学校:計2,025台、中学校:計1,035台)
巡回支援	月2回(1回あたり7時間) ・教員への指導 ・授業の補助



タブレット端末を導入した授業  
(イメージ)

## ◆開始予定

平成29年9月

長期計画の該当項目：施策8 確かな学力・豊かな人間性・健やかな体の育成

担当課：学務課  
窓口：6階2番

電話：3647-9176  
内線：3334



# 3 健康・福祉

悩める青少年たちへ早期に支援の手を  
**青少年期の悩みに対応するワンストップ相談窓口を設置**  
 青少年総合相談を毎週開設します

事業の拡充

事業経費

548万円

## ◆事業内容


- 専門相談員がひきこもりの問題のみならず、不登校や友人・異性・家庭内の問題等青少年期における幅広い悩みにも対応するワンストップ相談窓口を設置します。
- 新たに区役所本庁舎と平成29年4月にリニューアルオープンする「江東区青少年交流プラザ」(※)などに相談窓口を設置します。

※ 音楽スタジオや多目的ルームなどを有する青少年の健全育成のための施設で、大規模改修工事の終了に合わせ、平成29年4月より、「江東区青少年センター」から改称。平成29年度より指定管理者制度を導入し、事業の充実と利便性の向上を図る。

## ◆目的

様々な悩みや課題を抱える青少年に対し、早期に支援の手を差し伸べることにより、ひきこもり等を未然に防ぎ、自立・社会参加への手助けをします。

## ◆相談窓口概要

	平成28年度	平成29年度
対象	区内在住・在学・在勤の概ね15歳から40歳未満までの方及びその保護者など ひきこもりの方	ひきこもりの方や、ひきこもる前の不登校や友人・異性などの人間関係等に関する悩みを抱える方
相談場所	文化センター ほか	区役所、青少年交流プラザ ほか
回数	年28回	原則 週3回、13～17時
その他	ひきこもり等支援講演会の様子 (現行事業) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 区役所内や青少年交流プラザ内に専用の相談ルームを設置し、来談者が安心して相談できる環境を整備</li> <li>○ 窓口へ赴くことが困難なひきこもり当事者に対応するため、訪問相談も新たに実施</li> <li>○ ひきこもりの若者の社会参加のきっかけづくりとして、青少年交流プラザ内に居場所ルームを設置</li> </ul>

## ◆実績・背景

平成27年度より、ひきこもり等の若者に対する相談を中心とした支援事業(こうとうゆうすてっぷ)を本格実施し、平成28年12月末時点で延べ167件の相談がありました。

## ◆他区の状況

青少年総合相談事業は、世田谷区に次いで2例目

長期計画の該当項目：施策13 地域の人材を活用した青少年の健全育成

担当課：青少年課（青少年センター）

電話：5633-6371

住み慣れた地域での自立した生活をサポート

## 区内21か所に地域包括支援センターを開設

地域包括ケアシステムの実現に向け、高齢者の相談支援体制を強化!

### 事業の拡充

事業経費

7億4,272万円

#### ◆事業内容

在宅介護支援センター(区の愛称:長寿サポート)を地域包括支援センター(区の愛称:長寿サポートセンター)へ転換し、全21か所のセンター体制を構築します。

#### ◆目的

団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、「地域包括ケアシステム」の中核的な役割を担う地域包括支援センターを拡充し、高齢者が住み慣れた地域において自立した日常生活を営むことができるよう、地域の相談支援や介護予防、権利擁護などの機能強化を図ります。

#### ◆センター体制

- 平成27年度末時点で8か所だった地域包括支援センターを、平成28年度は12か所に増やし、さらに平成29年4月から21か所に拡大します。
- 高齢者約5,000人に対し1か所のセンターを配置して、きめ細かい体制を構築します。

#### ◆地域包括支援センター(長寿サポートセンター)の業務等

総合相談支援業務	保健、福祉サービス、医療、認知症など、高齢者に関する様々な相談に専門職のチームが対応
介護予防ケアマネジメント	介護予防ケアプラン作成や介護予防の取組を推進
権利擁護業務	高齢者の虐待防止、成年後見制度の利用支援等を実施
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	ケアマネジャーへの支援を実施
職員配置	保健師(看護師)、社会福祉士、主任介護支援専門員を各1人以上配置

#### ◆他区との比較

	江東区	23区平均
地域包括支援センター数(※)	21か所	12か所
高齢者人口(H28.1.1現在)	106,951人	86,426人
1センターあたり高齢者人口	5,093人	7,417人

※ 江東区:H29.4.1現在、23区:H28.10.1現在

#### ◆開設時期

平成29年4月



高齢者の総合相談窓口

長期計画の該当項目：施策25 総合的な福祉の推進

担当課：地域ケア推進課  
窓口：3階7番

電話：3647-9606  
内線：2617

人材の発掘・マッチングを活性化！  
**区内介護事業所等への就労を支援**  
 介護業界への人材の定着を図ります

事業の拡充

事業経費

360万円

◆事業内容

- 区主催の「福祉のしごと相談・面接会」「江東区介護業界就労促進研修」に参加し、区内介護事業所等へ就労した方に、就労準備金を支給します。
- 就労後、介護職員初任者研修を受講した方に、受講費用を助成します。

◆目的

- 介護従事者確保支援の一環として行っている「福祉のしごと相談・面接会」、「介護業界就労促進研修」への参加者の開拓を図り、介護業界への就労のきっかけをつくります。
- 無資格者等が介護職員初任者研修を受講しスキルアップすることで、就労意欲を高め、介護業界への定着化を図ります。

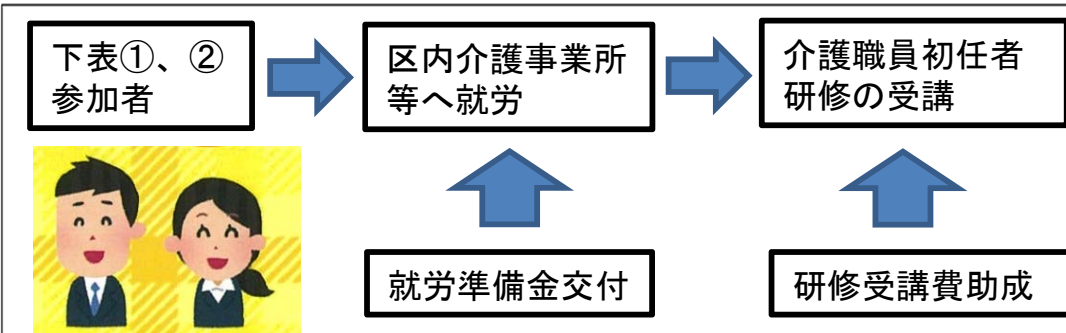
◆補助額

就労準備金	3万円
研修受講費用	受講費用の9割または7万円のうち、いずれか低い額

◆実施期間

平成29年度より3年間

◆補助の流れ



①福祉のしごと相談・面接会	②介護業界就労促進研修
年度内2回実施(9月頃、2月頃)	年度内2回実施(8月頃、1月頃)
福祉の仕事に興味のある方や、転職希望者などを対象に区内介護事業所等による相談・面接会を開催	介護業界に興味のある方や、就業を考えている方を対象に、介護のやりがいや業界の現状などの講義、施設見学などを行う。研修修了後は就労支援も実施

長期計画の該当項目：施策26 地域で支える福祉の充実

担当課：長寿応援課  
 窓口：3階8番

電話：3647-4331  
 内線：2615



障害者・高齢者施設の安全性の向上

**障害者・高齢者施設に非常通報装置等の設置費用を補助**

施設の防犯対策強化で利用者の安全の確保を図ります！

新たな取り組み

◆事業内容

事業経費	障害者(児)施設安全対策整備費補助事業	5,700万円
	介護保険施設管理事業	2,280万円

区内の障害者・高齢者施設に対し、非常通報装置や防犯カメラの設置等の安全対策に要する費用について、補助を行います。

◆目的

- 障害者・高齢者施設への安全対策に資する設備等の設置を促進し、施設の安全性の向上を図ります。
- 補助条件として、防犯マニュアルの策定を義務づけることで、ハード面だけでなくソフト面での防犯体制も整えます。

◆背景

平成28年7月に発生した神奈川県相模原市の障害者施設における殺傷事件を踏まえ、あらためて障害者・高齢者施設における利用者の安全の確保を図る必要があります。

◆補助内容

	障害者施設	高齢者施設
対象施設	○障害者(児)通所支援施設 ○地域活動支援センター ○グループホーム など	○特別養護老人ホーム ○介護老人保健施設 ○認知症高齢者グループホーム など ※宿泊を伴う施設に限る
対象設備	110番直結非常通報装置、防犯カメラ、カメラ付インターホン、フェンス など	
補助額	○総事業費30万円未満 ⇒ 全額 ○総事業費30万円以上 ⇒ 1/2 ※補助上限あり	○総事業費30万円未満 ⇒ 全額 ○総事業費30万円以上 ⇒ 国の補助制度に準じる
補助条件	施設における職員用の防犯マニュアルの策定	



長期計画の該当項目：施策25 総合的な福祉の推進 等

担当課：障害者支援課・長寿応援課  
窓口：2階17番・3階8番

電話：【障害】3647-4950 【長寿】3647-4331  
内線：【障害】2641 【長寿】2614

介護者の精神的負担を軽減

**高齢者の徘徊時に役立つGPS端末等を導入**

高齢者の迅速な居場所特定と身元確認につなげます

**新たな取り組み**

事業経費

250万円

**◆事業内容**

- 徘徊行動の見られる高齢者(※1)を介護する人に、位置情報を検索できるGPS専用端末を一定期間、無料で貸与します。
- 徘徊行動の見られる高齢者の身元確認に役立つ見守りステッカー・アイロンシールを配布します。

※1 目的を持って歩いているものの、認知症の症状により迷ってしまう、自宅に戻れなくなってしまう高齢者を含む

**◆目的**

- 徘徊時の居場所特定と身元確認を迅速化することで、高齢者の安全確保を図ります。
- 地域における見守りネットワークの形成に役立てます。

**◆徘徊対策ツール**

	GPS専用端末	見守りステッカー・アイロンシール
導入数	○ 専用端末 84台 ○ 専用靴(※2) 42足	各2,100セット
他区の状況	(端末の利用支援) 23区中15区	23区中8区
導入時期(予定)	平成29年10月	
配布場所	長寿サポートセンター (地域包括支援センター:21か所)	

※2 GPS専用端末イメージ  
(靴への埋め込み型)**◆特色・効果**

- 従来は困難だった介護者による行方不明高齢者の捜索・保護を可能にし、介護者の精神的負担を軽減します。
- ステッカー等を身に着けることで、高齢者の身元確認を容易にします。

**◆背景**

徘徊等により行方不明となった高齢者を介護者が独力で見つけることは困難であり、また身元確認ができずに自治体等に保護されている高齢者も増加を続けています。このため、行政による徘徊対策への積極的な関与が求められています。

長期計画の該当項目：施策25 総合的な福祉の推進

担当課：地域ケア推進課  
窓口：3階7番

電話：3647-4398  
内線：2636

あっせん対象者・相談窓口を拡大して居住支援を強化！

## お部屋探しのサポートを拡充

住宅確保要配慮者に民間賃貸住宅を紹介します

新たな取り組み

事業経費

604万円

### ◆事業内容

現在実施している「高齢者世帯民間賃貸住宅あっせん事業」(※1)を発展させ、住宅探しを支援する新たな事業を開始します。

※1 住宅に困っている高齢者に対し、区内の民間賃貸住宅の空室情報を提供し、賃貸借契約成立時に契約金の一部助成を行う。家主には、契約に対する謝礼金を支払い、契約を促進する。

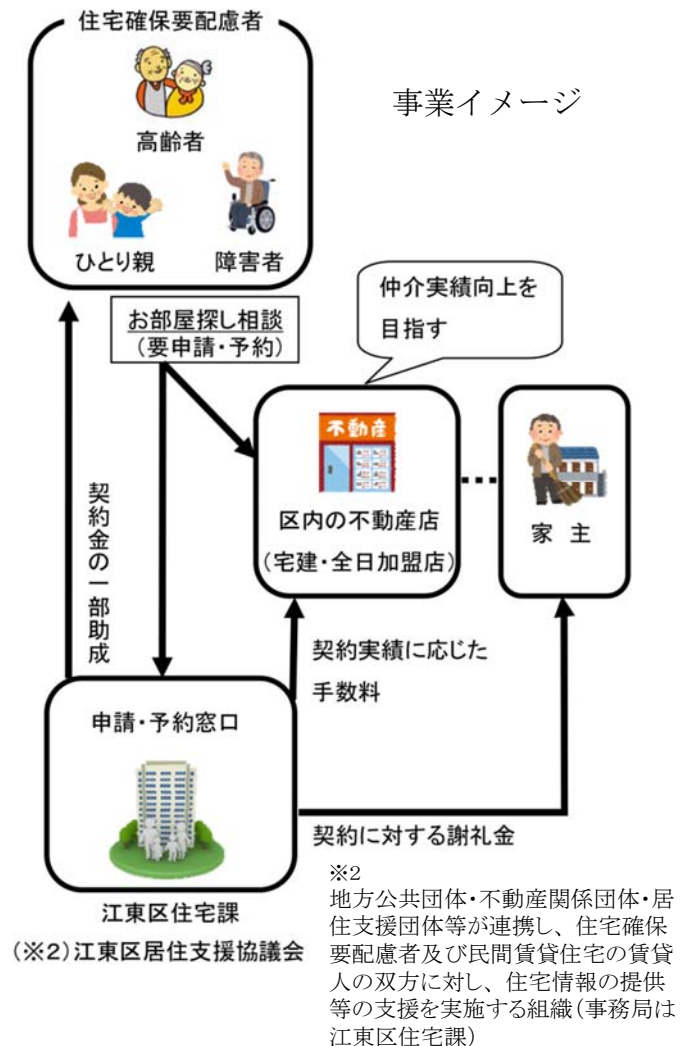
### ◆目的

- 高齢者以外で住宅の確保に特に配慮が必要な方(住宅確保要配慮者)に対する支援を強化します。
- 相談窓口を拡大することで、常態化している予約待ちの解消を図ります。
- 助成内容を見直し、家主と住宅確保要配慮者との賃貸借契約を促進します。

### ◆事業概要

対象者	高齢者、 <u>ひとり親</u> 、 <u>障害者</u>
相談窓口	○ <u>区内不動産店(一部)</u> ⇒ <u>随時(要事前申請)</u> ○区役所住宅課 ⇒ <u>毎週火曜日(要事前予約)</u>
助成内容	<p>&lt;相談者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○契約金の一部(家賃1ヵ月分、上限8万円)</li> <li>○保証料の一部 ※保証会社利用の場合(保証料の半額、上限2万円)</li> </ul> <p>&lt;家主&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○契約に対する謝礼金(新規契約時、1万5千円)</li> </ul> <p>&lt;不動産店&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>手数料(契約成立時、1万円)</u></li> </ul>

※下線部分は拡充項目



### ◆開始予定

平成29年7月

長期計画の該当項目：施策29 住みよい住宅・住環境の形成

担当課：住宅課  
窓口：5階1番

電話：3647-9473  
内線：2994

平成28年度協働事業提案制度 採択事業

**地域の課題を区と協働で解決**

地域障害者交流事業 さるえ

事業の拡充

事業経費

95万円

## ◆事業内容

市民活動団体(町会・自治会、NPO、ボランティア団体等)と区が協力して、地域課題の解決に取り組むため、協働事業提案制度で採択された事業を実施します。

## ◆目的

採択事業の実施を通じて、地域へ協働に対する理解を広め、市民活動団体の柔軟な発想や専門性を公共サービスに取り入れる仕組みを推進します。

## ◆採択事業

事業名	地域障害者交流事業 さるえ ※
提案団体	一般社団法人 江東ウィズ
目的	障害の有無に関わらず、ともに楽しみ、交流できるイベントの企画・実施を通じて障害者への理解を深めます。
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 区民や大学、高等学校、専門学校等に広く呼びかけ、障害者への理解を深めるボランティア講座を開催します。</li> <li>○ 障害の有無に関わらず楽しめるコンサート・ウォークラリーを、ボランティア受講生とともに企画・実施することを通じて、事業を担えるボランティアの育成を図ります。</li> </ul> <p>※団体の活動拠点である猿江地域から地域に根ざした事業を進めていきます。</p>
事業担当課	障害者支援課

## ◆過去3年間の採択事業（事業は採択された翌年度に実施）

採択年度	採択事業
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こども読書活動に関わる人材育成</li> <li>○江東区内災害時、歩行困難者・避難所のバリアフリー調査</li> </ul>
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○江東区内ことばの道案内作成・提供事業</li> <li>○江東区内「だれでもトイレ」の詳細情報の調査</li> </ul>
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こうとう子育てメッセ</li> <li>○コミュニティガーデンによる花とみどりに彩られたまちづくりの推進</li> </ul>

長期計画の該当項目：施策17 コミュニティの活性化

担当課：地域振興課  
窓 口：4階26番

電話：3647-8570  
内線：2443

# 4 綠・環境

快適な道路環境を目指して

**東京五輪会場周辺の区道に遮熱性舗装を実施**

開催時の暑さ対策・環境対策を実施

**新たな取り組み**

## ◆事業内容

事業経費

29年度

8,847万円

総事業費

7億6,062万円

東京2020オリンピック・パラリンピック会場周辺の区道において、路面温度の上昇を抑制する遮熱性舗装を実施します。

## ◆目的

夏季に開催される東京2020大会開催時の暑さ対策として、車道への遮熱性舗装を実施し、観客等へ快適な歩行空間を提供します。

## ◆効果

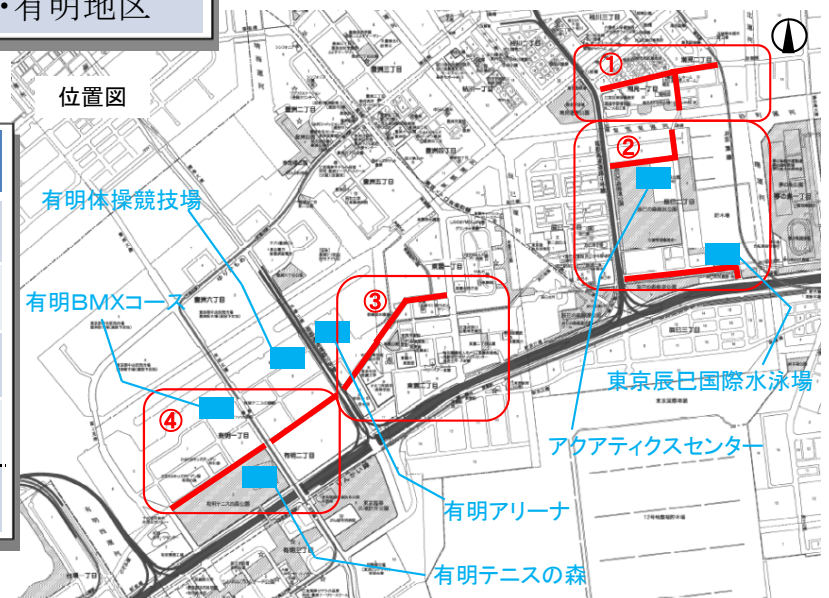
路面に塗布した遮熱材が、赤外線を反射することで舗装への蓄熱を防ぎ、路面温度の上昇を10℃程度抑制することができます。

## ◆スケジュール

平成29年度	潮見地区
平成30年度	辰巳・有明地区
平成31年度	潮見・辰巳・東雲・有明地区

## ◆整備地区・延長

	地区	延長
①	潮見地区	885m
②	辰巳地区	1,221m
③	東雲・有明地区	840m
④	有明地区	1,080m
	合計	4,026m



## ◆背景

東京都も東京2020大会に向け、暑さ対策の一つとして、都道において環境対策型の舗装を行っています。区と都が連携し、競技会場周辺の観客の主な動線となる道路を整備していきます。

長期計画の該当項目：施策3-1 便利で快適な道路・交通網の整備

担当課：道路課

窓口：防災センター3階5番

電話：3647-9665

内線：6441

資源・ごみの分け方・出し方をスマートフォン用アプリで簡単検索

## 資源・ごみ分別アプリを配信

外国語（英語・中国語・韓国語）にも対応！

### 新たな取り組み

事業経費

390万円

#### ◆事業内容

資源・ごみの収集日の確認や出し忘れ防止に役立つ機能を搭載したスマートフォン用アプリを配信します。

#### ◆背景・目的

- 資源・ごみの排出マナー向上に関する課題の一つとして、若年層単身者や外国人住民への情報発信の強化があります。
- 近年、急速に普及しているスマートフォンの活用により、特に若年層や外国人に対する情報発信ツールとして、資源・ごみの排出に関する情報を、より手軽に確認できるようにします。

#### ◆アプリの主な機能

機能	内容
カレンダー機能	居住地区に応じた各種の収集日をアプリ内カレンダーに表示
アラート機能	資源・ごみの収集日を前日と当日にアラートでお知らせ
検索機能	品目ごとに排出方法を簡単に素早く検索
お知らせ機能	収集などに関するお知らせを掲載
多言語対応	英語・中国語・韓国語

#### ◆開始予定

平成29年9月

#### ◆他区の状況

23区中5区で導入済み



えこつくる江東キャラクター  
「たすけくん」



スマートフォン用アプリ（イメージ）

長期計画の該当項目：施策4 循環型社会の形成

担当課：清掃リサイクル課  
窓口：防災センター6階4番

電話：3647-9181  
内線：6342

「食品ロス」削減の意識啓発と園芸土の再生  
**回収した家庭の余剰食品・不用園芸土を再活用**  
 環境フェアの会場で回収します！

**新たな取り組み**

事業経費

73万円

◆事業内容

- 家庭で余った食品を「環境フェア」(※)の会場へ持ち寄っていただき、フードバンク団体を通じて福祉団体や福祉施設などに提供します。
- 家庭で不用になった園芸土を「環境フェア」(※)の会場で回収し、加熱滅菌処理などにより適正に処理した後、再生園芸土として区民まつりなどで無料配布します。

◆背景・効果（余剰食品の回収）

- まだ食べられるのに捨てられている食べ物、いわゆる「食品ロス」が日本国内で年間約632万トンと言われており、国は食品ロス削減に向けた取り組みを推進しています。
- 本事業の実施により、食品ロスの削減について意識啓発を図るとともに、回収した食品は福祉団体や福祉施設に提供されますので、社会福祉の向上に寄与します。

◆背景・効果（不用園芸土の回収）

- 集合住宅が多い本区では、ベランダなどの限られたスペースで園芸に取り組む区民が増えており、それにともない不用となった園芸土の処分についての区民要望が増えています。

※「環境フェア」概要

主催	江東区、江東区環境フェア実行委員会
開催	毎年6月(平成29年度は6月4日(日)開催予定)
会場	環境学習情報館・清掃事務所(潮見1-29-7)
内容	環境NPO、企業、行政などの環境保全活動紹介及び交流、体験型の環境学習プログラムの提供
その他	平成29年度は10周年として記念イベントを予定



第9回環境フェア(平成28年6月開催)

◆他区の状況

- 【余剰食品の回収】 墨田区、世田谷区、足立区、江戸川区などで実施
- 【不用園芸土の回収】 中央区、台東区、品川区で実施

長期計画の該当項目：施策4 循環型社会の形成

担当課：清掃リサイクル課  
 窓口：防災センター6階4番

電話：3647-9181  
 内線：6342



# 5 産業・生活

東京2020オリンピック開幕1,000日前！  
**カウントダウンイベントを実施、カウントダウンパネルを設置**  
見て・感じて・楽しんで盛り上げよう♪

## 新たな取り組み

◆事業内容	事業経費	区民まつり事業	771万円
		オリンピック・パラリンピック開催準備事業	2,115万円

- 区内最大のイベントである江東区民まつり中央まつりを東京2020オリンピック開幕の1,000日前(10月28日)に開催し、カウントダウンイベントを実施します。
- カウントダウンパネルを区内に設置し、東京2020オリンピック開幕の1,000日前からカウントダウンを開始します。

## ◆目的

東京2020オリンピック開幕の1,000日前を盛り上げることにより、「スポーツと人情が熱いまち江東区」を盛大にPRし、3年後の東京オリンピック・パラリンピックに向けて気運醸成を図ります。

## ◆江東区民まつり中央まつり イベント

イベント(予定)	内容
カウントダウンパネル お披露目	カウントダウンイベントにて「カウントダウンパネル」のお披露目及び点灯式を行います
みんなで“せーの” カウントダウン	メインステージとカウントダウンパネルを設置予定の区内施設において、同時にくす玉を割るなどのカウントダウンイベントを実施します
1,000人で風船飛ばし	オープニングパレード参加者及びボランティアの計1,000人が、メインステージで行われるオープニングセレモニーにあわせて、一斉に風船を飛ばします
オリンピック トークショー・握手会	○「アスリートが見た、これが世界のトップレベル」をテーマに、メインステージでトークショーを行います ○特設ブースでの握手会を実施します
スポーツライミング 体験コーナー	江東区青海で開催が決定した追加競技のPRのため、スポーツライミングを体験できるブースを設置します

## ◆実施日

10月28日(土) ※区民まつり中央まつりは翌日も開催

## ◆その他関連イベント

オリンピック・パラリンピック気運醸成コンサートの開催

日程	平成29年10月(予定)
場所	ティアラこうとう(住吉2-28-36)
内容(予定)	○オリンピック関連曲のライブコンサート ○オリンピック・パラリンピアンによるトークショー ○過去大会の名場面の上映 等



江東区民まつりマスコット  
コトトちゃん

長期計画の該当項目：施策17 コミュニティの活性化 等

担当課：地域振興課・オリンピック・パラリンピック開催準備担当  
窓口：4階26番・4階1番

電話：【地域】3647-4963 【オリパラ】3647-5513  
内線：【地域】2417 【オリパラ】2117

## 東京2020オリンピック・パラリンピックでのボランティアを目指して 高校生ジュニアリーダーを海外のボランティア先進都市に派遣 地域で活躍する人材を育成！

### 新たな取り組み

事業経費

478万円

### ◆事業内容

東京2020オリンピック・パラリンピックでのボランティアを養成するため、高校生のジュニアリーダー(※)を海外のボランティア先進都市に派遣します。

※ジュニアリーダー：子ども会や地域の活動などで、子どもたちのよきお兄さん・お姉さんとして活躍する年少指導者。大人と子どもを結ぶパイプ役。小学校5年生から受講できる講習会を受講・修了することが必要。今年度、ジュニアリーダーズクラブとして110人が活動している。

### ◆目的

- 東京2020大会でボランティアとして活動するため、海外ボランティア先進都市において国際感覚を養うとともに、ボランティア意識やコミュニケーション能力の向上などを目指します。
- 東京2020大会終了後も、ジュニアリーダーの中核メンバーとして子ども会やまちづくりなど、地域活動に貢献する指導者として活発に活動していく人材を育成します。

### ◆特色

事前研修で自主的に研修テーマを設定の上、現地で調査研究を行う自己研さん型のプログラムを取り入れる等、海外派遣の事前事後の研修を充実させます。

### ◆海外派遣の概要（予定）

対象人数	10人
派遣先	アメリカ オレゴン州ポートランド
時期	平成29年8月
日数	9泊10日
内容	○ホームステイ ○ボランティア活動 ○キャンプ活動 等



派遣先で現地の方と交流(イメージ)

### ◆海外派遣後の活動予定

- 東京2020大会でのボランティア
- 東京都が予定している、ラグビーワールドカップ2019日本大会のボランティア
- 江東区青少年交流プラザでの国際交流プログラムへの参画

### ◆他区の状況

ジュニアリーダーに特化した海外派遣は23区初

長期計画の該当項目：施策13 地域の人材を活用した青少年の健全育成

区独自のボランティアとしての活動を目指して  
**(仮称)江東区外国人おもてなし講座を開講**  
 外国人観光客を笑顔でおもてなし♪

**新たな取り組み**

事業経費

74万円

◆事業内容

道案内などの簡単な英会話や、外国人とのコミュニケーションの基礎知識を習得するため、区民・区内団体向けの講座を開講します。

◆目的

- 東京2020オリンピック・パラリンピック開催時に、区を訪れる外国人来訪者を、笑顔で“おもてなし”することができます。
- 講座修了者をボランティアとして登録することで、東京2020大会の際、区独自のボランティアとして活動してもらうことを目指します。
- 区内全域における“おもてなし”の気運醸成を推進します。

◆(仮称)江東区外国人おもてなし講座 概要

開催場所	区内の文化センター等
回数	1講座につき5回
定員	1講座50人程度
内容	簡単な英会話レッスンなど



外国からの来訪者を“おもてなし”

◆東京都・大会組織委員会のボランティアに対する取り組み

- 東京都及び大会組織委員会は、東京2020大会の開催に向けたボランティアの募集や研修などの運営のあり方、参加者の裾野拡大などについて基本的な考え方を示した「ボランティア戦略」を平成28年12月に策定しました。
- 平成30年夏頃に「大会ボランティア」及び「都市ボランティア」を募集する予定です。

	大会ボランティア	都市ボランティア
運営主体	大会組織委員会	東京都
活動場所	競技会場、選手村などの大会関係施設	空港・主要駅・観光地及び競技会場の最寄駅周辺
活動内容	観客サービス、競技運営のサポート、メディアのサポートなど	国内外の旅行者に対する観光・交通案内、及び競技会場の最寄駅周辺における観客への案内など
人数規模	合計で9万人以上を想定	

長期計画の該当項目：計画の実現に向けて(2) スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営

担当課：オリンピック・パラリンピック開催準備担当  
 窓口：4階1番

電話：3647-5513  
 内線：2117

外国人スタッフが取材記事を作成！  
**ことみせ登録店(飲食・物販店)の情報を英語で紹介**  
 外国人旅行者等にお店の魅力を発信

**新たな取り組み**

事業経費

443万円

◆事業内容

ことみせ(※)登録店について、外国人スタッフが取材・記事作成を行い、外国人にわかりやすく読みやすい内容の英語で、お店の魅力を「ことみせ」ホームページで積極的に情報発信していきます。

※ことみせ：正式名称は「江東お店の魅力発掘発信事業」。区内のお店やトピックスについて、情報誌やインターネットで配信。登録店で利用可能なクーポン等も発行。

◆目的

- ことみせ登録店の紹介記事を英語で情報発信することで、より多くの人にお店の魅力的な情報を提供することができ、登録店の利用促進を図ります。
- 日本人にない視点で取材できるスタッフが、外国人におすすめのお店を自ら選定して取材することにより、見て感じたお店の魅力を、より効果的に情報発信できます。

◆実施内容

開始予定	平成29年4月
取材予定	年間約270店
ことみせ登録店舗数	532店(平成28年12月末現在)

When the temperature drops and blistery winds start to tempt most of us to say in bed for as long as possible, the only good reason to leave the house might be the never-ending quest for delicious comfort food.  
 Many of us have a favourite go-to, but I believe that in the competition for Most Comforting of Comfort Foods, little rivals warm, freshly baked bread!



Here we are at Blue Blood Bakery, located just a few minutes from Koto City's Kameido Station. Push open the glass door and the first thing to greet you will be-

お店の魅力を英語で紹介(イメージ)

◆背景

- おもてなし多言語表記促進事業(※1)を活用し、メニュー等を多言語化する登録店が増加しています。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、外国人旅行者が増加しており(※2)、外国人旅行者等に向けた、英語での区内店舗の情報提供が求められています。

※1 おもてなし多言語表記促進事業：区が外国人旅行者等の受入環境を整備するため、案内表示等の多言語化に要する経費の一部を補助することにより多言語化を行うお店をサポートする事業。

【事業活用例】■英語及び中国語表記のメニュー作成

■英語ポスターの作成及び英語メニューちらしの作成・配布

※2 訪都外国人旅行者数：平成25年 681万人 → 平成26年 887万人(出典:江東区観光推進プラン(後期))

◆他区の実施状況

観光部門ではなく、商業振興での登録店舗の情報発信としては23区初

長期計画の該当項目：施策15 環境変化に対応した商店街振興

担当課：経済課  
 窓口：4階28番

電話：3647-9502  
 内線：2437

ブランドコンセプト・ロゴマークを活用したPR事業を拡大！

## ブランディング戦略による区の魅力発信を加速

PR動画コンテストやロゴマーク壁面装飾など

新たな取り組み

事業経費

2,291万円

### ◆事業内容

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、区の魅力を国内外に発信していくため、現在募集しているPR動画コンテスト(\*)の作品を活用した広報活動や、公共交通機関へのポスター等の掲出など、江東区のPR事業をさらに推進していきます。

※募集締切：平成29年2月28日


### ◆目的

- 東京2020大会の開催を契機に、国内外に区の魅力を積極的・戦略的に発信することで、区民の気運醸成と区外の方へのPRを展開します。
- 区のブランド化を一層推進していきます。

### ◆「PR動画コンテスト」主な概要

テーマ	「江東区のここが魅力！」「江東区のこの魅力を伝えたい！」など、江東区の魅力を伝えるもの
応募資格	どなたでも(個人・グループ、プロ・アマ、区内在住・区外在住は問わない)
作品規格	江東区の素材を活用した60秒以内の動画
審査	区と外部審査員で構成する審査委員会で選考(特別審査員:テリー伊藤氏)
賞	①グランプリ 1作品、②準グランプリ 2作品、③特別賞 3作品

### ◆ブランディング戦略の主な取り組み

年度	活動内容
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ロゴマークポスター、のぼり旗の庁舎及び区施設への掲出</li> <li>○ロゴマークのホームページからのダウンロード開始</li> <li>○ロゴマークピンバッジ等のPRグッズの作成・配布</li> <li>○PR動画コンテストの開催</li> </ul> 
平成29年度 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区役所本庁舎等のロゴマークドレスアップ(壁面装飾等)の実施</li> <li>○ロゴマークを活用した区PR広告を公共交通機関(東京メトロ、都営地下鉄)に掲出</li> <li>○第2回PR動画コンテストの開催</li> <li>○PR動画コンテスト グランプリ作品の区内シネコンでのスクリーン広告放映</li> <li>○オリンピック1,000日前イベントの開催</li> </ul>

長期計画の該当項目：計画の実現に向けて(2) スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営

担当課：オリンピック・パラリンピック開催準備担当  
窓口：4階1番

電話：3647-5513  
内線：2117

江東区の魅力を積極的に発信！

**こうとう情報ステーションをリニューアル**

オリンピック・パラリンピック紹介コーナーやジオラマを設置

**事業の拡充**

事業経費

2,878万円

**◆事業内容**

区のイベント展示・PR・書籍販売を行っている区役所庁舎2階の「こうとう情報ステーション」の設備、デザインを一新し、10年ぶりにリニューアルします。

**◆目的**

- 区役所を訪れる方々に、江東区の愛着や理解を深めていただけるよう、江東区ブランディング戦略と連携し、区の魅力を積極的に発信します。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、関連の展示を充実させます。

**◆リニューアルの主な内容**

オリンピック・パラリンピック紹介コーナー	江東区ゆかりのオリンピック(陸上:ケンブリッジ飛鳥さんなど)・パラリンピアン(カヌー:瀬立モニカさん)などの紹介コーナーを設け、東京2020大会への気運を醸成
江東区ジオラマ	江東区全域のジオラマで東京2020大会の競技会場や区内名所の場所を紹介
大型モニター	江東区の各種映像を放送し、区の魅力を積極的に発信(55インチモニター4台(縦1.4m×横2.4m))
その他	レイアウト・床・照明などを一新し、快適な空間を創出

**◆リニューアル予定**

平成29年12月

**◆実施場所**

区役所庁舎2階(こうとう情報ステーション)

**◆「こうとう情報ステーション」の経緯・現状**

- 平成19年1月に、区政に関する情報を区民の方々が迅速かつ容易に得られるように、資料、パンフレット等を集約し、一体的に提供できる体制を整備するため新設しました。
- 広さ約160㎡、約300種類のパンフレット等をおいています。また、約80種類の区関連書籍等を販売しています。



大型モニター(イメージ)

長期計画の該当項目：計画の実現に向けて(1) 区民の参画・協働と開かれた区政の実現

担当課：広報広聴課  
窓口：2階21番

電話：3647-2364  
内線：2275

スムーズできめ細やかな窓口サービスを提供！  
**多機能タブレット端末(通訳クラウド・地図システム)を導入**  
 外国人や高齢者にもやさしい受付が可能に

新たな取り組み

事業経費

1,143万円

◆事業内容

- 転入・転出など住所異動の手続きに、多機能タブレット端末を導入します。
- 多機能タブレット端末では、インターネットを活用した通訳システム(クラウド型)と、移住地確認用の地図システム(※)の2つの機能が使用可能になります。

※地図システム：転入時などに住所確認を行う際、住所表記が正しく届け出されているか、区内各地域の詳細な地図や集合住宅の部屋番号(20戸以上の場合)を確認することができるデータベース

◆目的

5か国語(英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語)の通訳システムを活用することにより、外国人の住所異動手続きや各種案内に対して、迅速かつきめ細やかな窓口サービスの提供を図ります。

◆特色

- 多機能タブレット端末を使用した通訳システムにより、通訳者と外国人区民、区職員との3者による通訳がリアルタイムで可能となります。
- タブレット端末の内臓カメラを利用して、申請書類の翻訳も可能になります。
- 住所異動手続き時に確認が必要な地図を迅速に表示でき、高齢者の方にも見えやすいように拡大しながら提示できます。

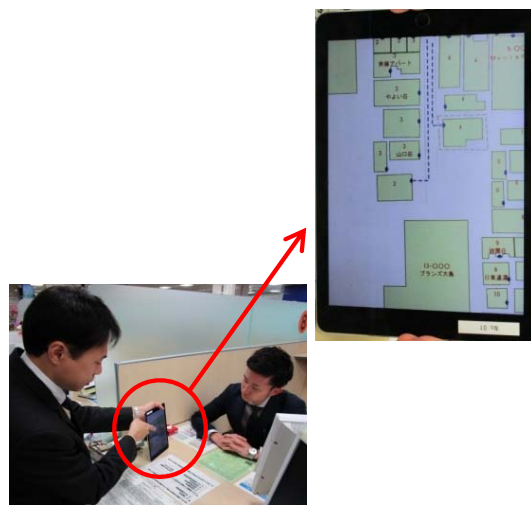
◆効果

- 窓口事務処理の流れを効率化し、手続きの受付時間・待ち時間の短縮が期待できます。
- 従来使用していた紙の地図の修正・差替えが不要となり、ペーパーレス化につながります。

◆多機能タブレット端末の概要

実施場所	区民課(区役所)	豊洲特別出張所 大島出張所 亀戸出張所
導入数	10台	各1台
内容	通訳システム 地図システム	通訳システム
導入時期	平成29年4月(地図システムは9月頃の予定)	
他区の状況	通訳システムと地図システムの2つの機能を盛り込んだ多機能タブレット端末の導入は23区初	

※平成28年度より、子育て支援課や医療保険課で、タブレット端末を使用した通訳システムを導入済み



地図システム使用イメージ

長期計画の該当項目：計画の実現に向けて(2) スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営

担当課：区民課  
 窓口：2階3番

電話：3647-3162  
 内線：2537



みなさんが区の魅力をPR！  
**原動機付自転車等にプレミアムナンバープレートを導入**  
 新たなデザインが走り出します

**新たな取り組み**

事業経費

171万円

◆事業内容

区が標識を交付している原動機付自転車(※1)及び小型特殊自動車(※2)に、プレミアムデザインのナンバープレートを導入します。

※1 原動機付自転車：総排気量が125cc以下または定格出力が1kw以下の二輪車など

※2 小型特殊自動車：フォークリフトやショベル・ローダ、農耕トラクタなど

◆目的

- 東京2020オリンピック・パラリンピックにおいて、全市区町村で最も多くの大会会場が整備される江東区の魅力をPRする一助になります。
- 区のイメージアップにつながるデザインのナンバープレートを新たに作製・交付することで、同大会の開催に向けて、区民の参加意識や気運の醸成を図ります。

◆交付対象

新規登録される原動機付自転車及び小型特殊自動車  
 ※プレミアムナンバープレートと従来のナンバープレートの選択が可能です

◆導入スケジュール

スケジュール	内容
平成29年4月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デザイン募集方法の検討・決定</li> <li>○デザイン募集</li> <li>○デザイン審査・決定</li> <li>○新プレートの作製・導入準備</li> </ul>
平成30年1月～	交付開始



原動機付自転車で区の魅力をPR！  
 (写真は従来のナンバープレート)

◆他区の状況

- 原動機付自転車：選択制によるオリジナルナンバープレートの導入は7区で実施
- 小型特殊自動車：23区初

長期計画の該当項目：計画の実現に向けて(3) 自律的な区政基盤の確立

担当課：課税課  
 窓口：5階6番

電話：3647-8093  
 内線：2311

記憶に残る結婚記念日を演出♪  
**オリジナルデザイン入り婚姻届を作成・配布**  
 2人の門出を区が後押し！

新たな取り組み

事業経費

5万円

◆事業内容

江東区ロゴマークと江東区観光キャラクター「コトミちゃん」がデザインされた、オリジナルデザイン入り婚姻届を作成・配布し、届出書類として使用を開始します。

◆目的・効果

- 年間5,500件を超える婚姻届の届出(※)があり、届出書類をオリジナルデザインにすることで、記憶に残る“結婚記念日”を演出します。
- 江東区ロゴマークをデザインに使用することにより、江東区ブランディング戦略をアピールすることにつながり、区への愛着を高めます。

※平成28年1～12月:5,515件

◆特色

- 江東区ロゴマークや、江東区観光キャラクター「コトミちゃん」の花嫁バージョンのイラストが描かれており、カラフルな仕様に仕上がっています。
- 婚姻届のデザインには、区の花であるサザンカの花をイラストするなど、区民課職員のアイデアが取り入れられています。
- 平成28年6月に区役所及び豊洲シビックセンターに設置した「メモリアルボード」で記念撮影をすることで、メモリアル効果が相乗的に期待できます。

◆配布開始

平成29年2月2日～(2月14日のバレンタインデーに向けて)  
 ※今後、デザインのバリエーションを数種類増やしていきます

◆配布場所

江東区役所(2階区民課)、豊洲特別出張所、各出張所(7か所)

◆他区の導入状況

23区では2区で導入



江東区ロゴマーク



オリジナルデザイン入り婚姻届



メモリアルボード(区役所2階)

長期計画の該当項目：計画の実現に向けて(2) スリムで区民ニーズに的確に対応した行財政運営

担当課：区民課  
 窓口：2階1番

電話：3647-3163  
 内線：2541

# IV 資料編

# 1 歳入・歳出の内訳

## 【一般会計(歳入・歳出)対前年度比較】

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減 額	増減率 (%)
<b>歳 入</b>	1,996億4,200万円	1,886億3,800万円	110億 400万円	5.8
区税等(一般財源)	1,232億9,800万円	1,156億8,500万円	76億1,300万円	6.6
国・都支出金	465億1,700万円	446億1,400万円	19億 300万円	4.3
繰 入 金	182億4,600万円	161億1,000万円	21億3,600万円	13.3
特 別 区 債	14億7,400万円	12億3,500万円	2億3,900万円	19.3
そ の 他	101億 700万円	109億9,400万円	△8億8,700万円	△8.1
<b>歳 出</b>	1,996億4,200万円	1,886億3,800万円	110億 400万円	5.8
人 件 費	284億9,500万円	299億2,800万円	△14億3,300万円	△4.8
扶 助 費	636億2,100万円	605億7,100万円	30億5,000万円	5.0
公 債 費	34億7,200万円	29億5,000万円	5億2,200万円	17.7
普通建設事業費	284億8,600万円	234億4,500万円	50億4,100万円	21.5
積 立 金	59億5,300万円	16億 100万円	43億5,200万円	271.9
物件費・補助費等	504億 500万円	499億4,200万円	4億6,300万円	0.9
そ の 他	192億1,000万円	202億 100万円	△9億9,100万円	△4.9

### <歳入の特徴>

- ◇区税等(一般財源)は、対前年度比6.6%の増。  
(特別区税や特別区交付金の増などによる)
- ◇国・都支出金は、対前年度比4.3%の増。  
(子どものための教育・保育給付費負担金の増などによる)
- ◇繰入金は、対前年度比13.3%の増。  
(公共施設建設基金の繰入金の増などによる)

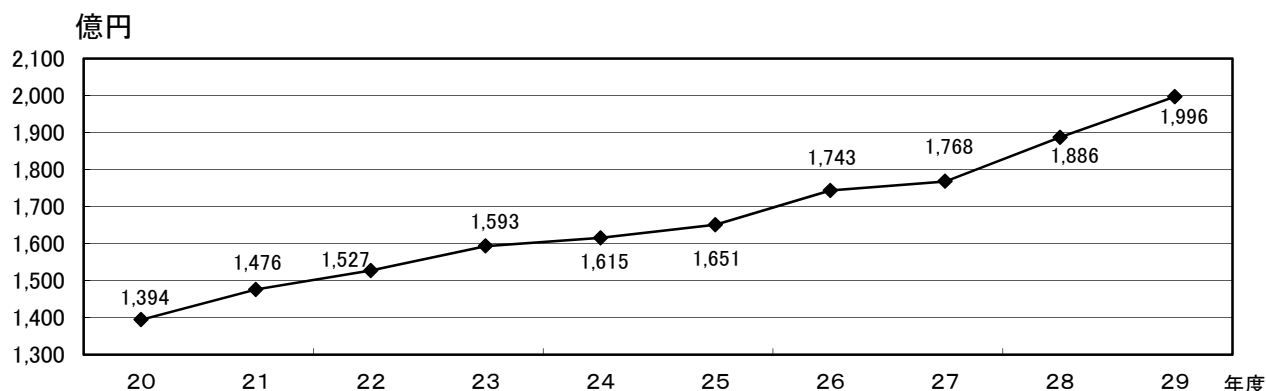
### <歳出の特徴>

- ◇人件費は、対前年度比4.8%の減。  
(退職手当の減などによる)
- ◇扶助費は、対前年度比5.0%の増。  
(私立保育所運営費の増などによる)
- ◇普通建設事業費は、対前年度比21.5%の増。  
(〔仮称〕第二有明小・中学校整備の増などによる)

## 2 各項目の推移

### 2-1 一般会計(予算規模)の推移

29年度 1,996億4,200万円



◇一般会計の予算規模は、前年度比5.8%の増となった。

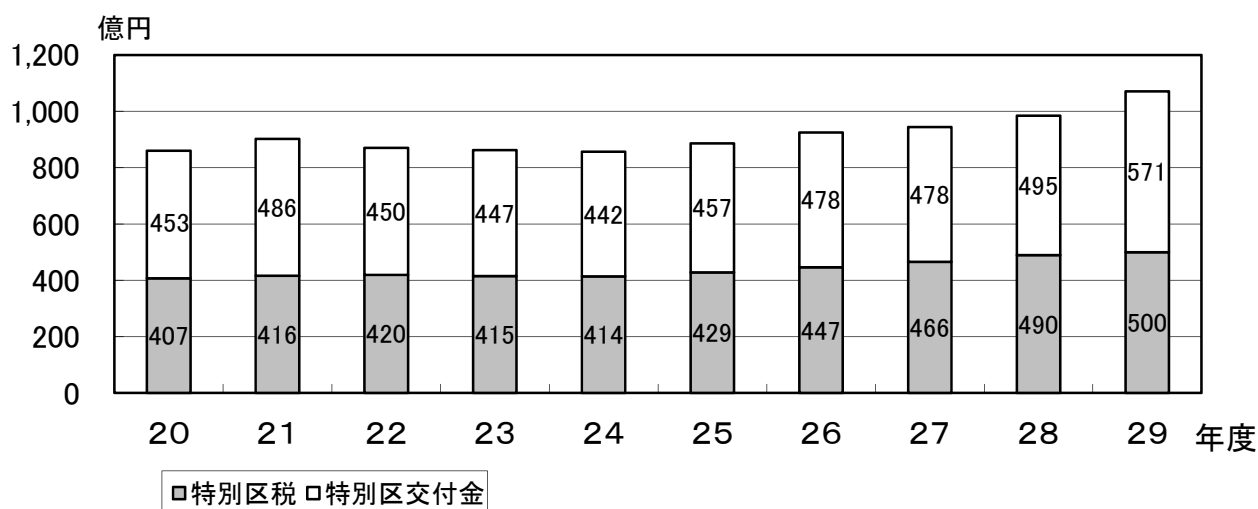
### 2-2 歳入(特別区税と特別区交付金)の推移

29年度 区税 500億1,500万円  
交付金 570億9,000万円

(単位:億円/当初予算ベース)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
区税	407	416	420	415	414	429	447	466	490	500
交付金	453	486	450	447	442	457	478	478	495	571
合計	860	902	870	862	856	886	925	944	985	1,071
構成比	61.7	61.2	57.0	54.1	53.0	53.7	53.0	53.4	52.2	53.7

構成比=特別区税と特別区交付金の合計額が、歳入全体に占める割合(%)

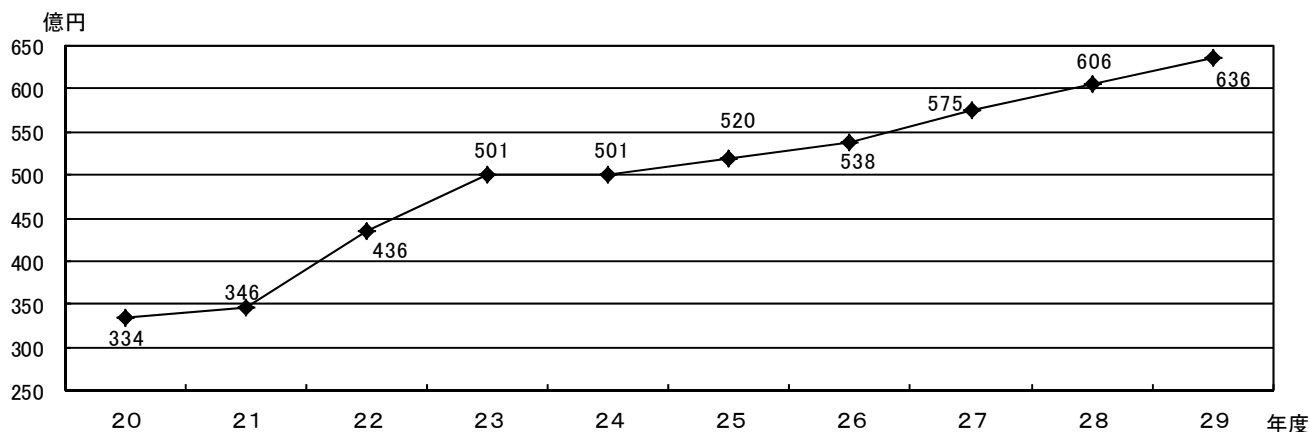


◇区の基幹的な歳入である特別区税と特別区交付金の合計額は、1,071億円。特別区税や特別区交付金がともに増となり、一般会計に占める構成比は53.7%となった。

## 2-3 歳出の推移

### (1) 扶助費(生活保護費や児童福祉費など)

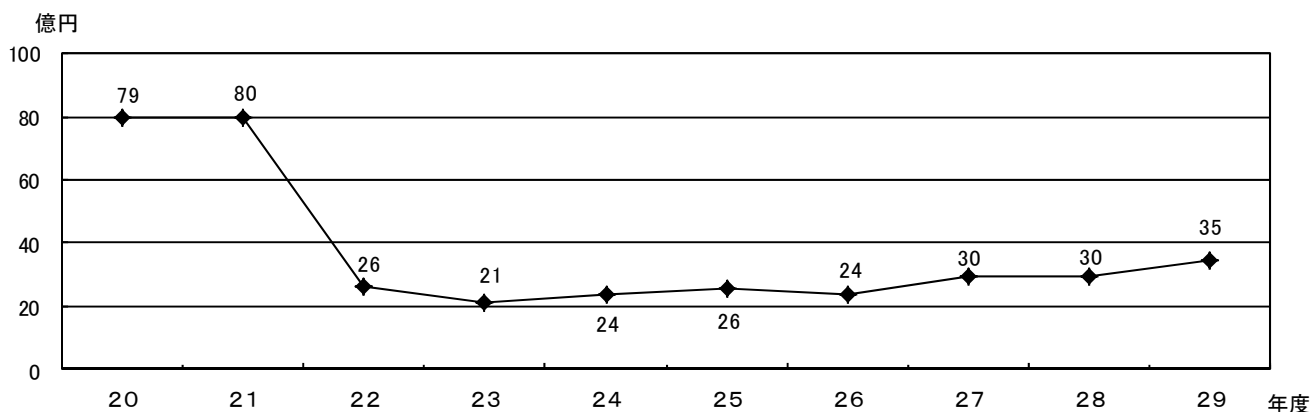
29年度 636億2,100万円



◇私立保育所運営費や介護給付等給付の増などにより、5.0%の増となった。

### (2) 公債費

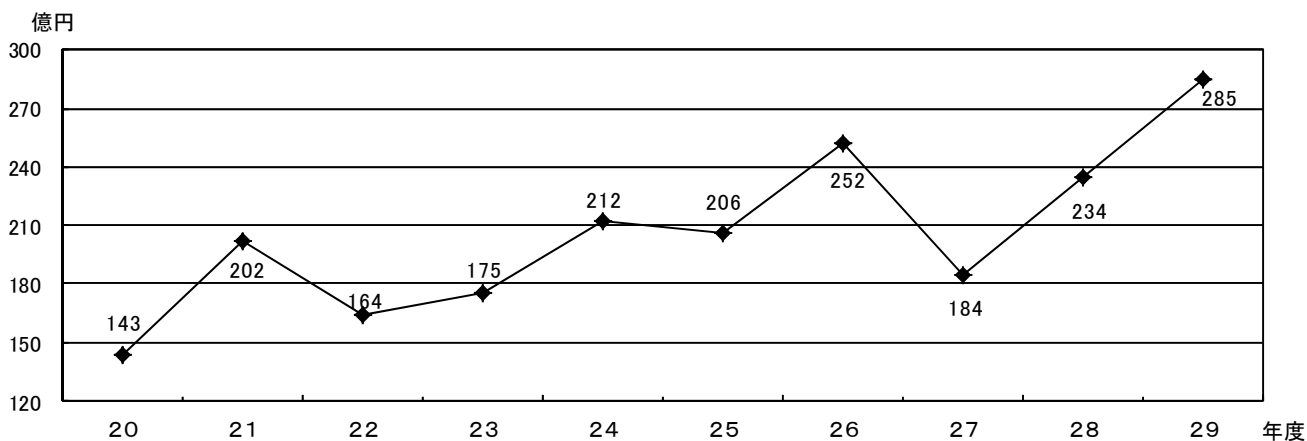
29年度 34億7,200万円



◇公債費は、償還元金の増により、17.7%の増となった。

### (3) 普通建設事業費

29年度 284億8,600万円



◇普通建設事業費は、(仮称)第二有明小・中学校整備の増などにより、21.5%の増となった。

## 2-4 積立基金と特別区債の現在高の推移

29年度末 積立基金 859億7,800万円  
特別区債 295億4,200万円

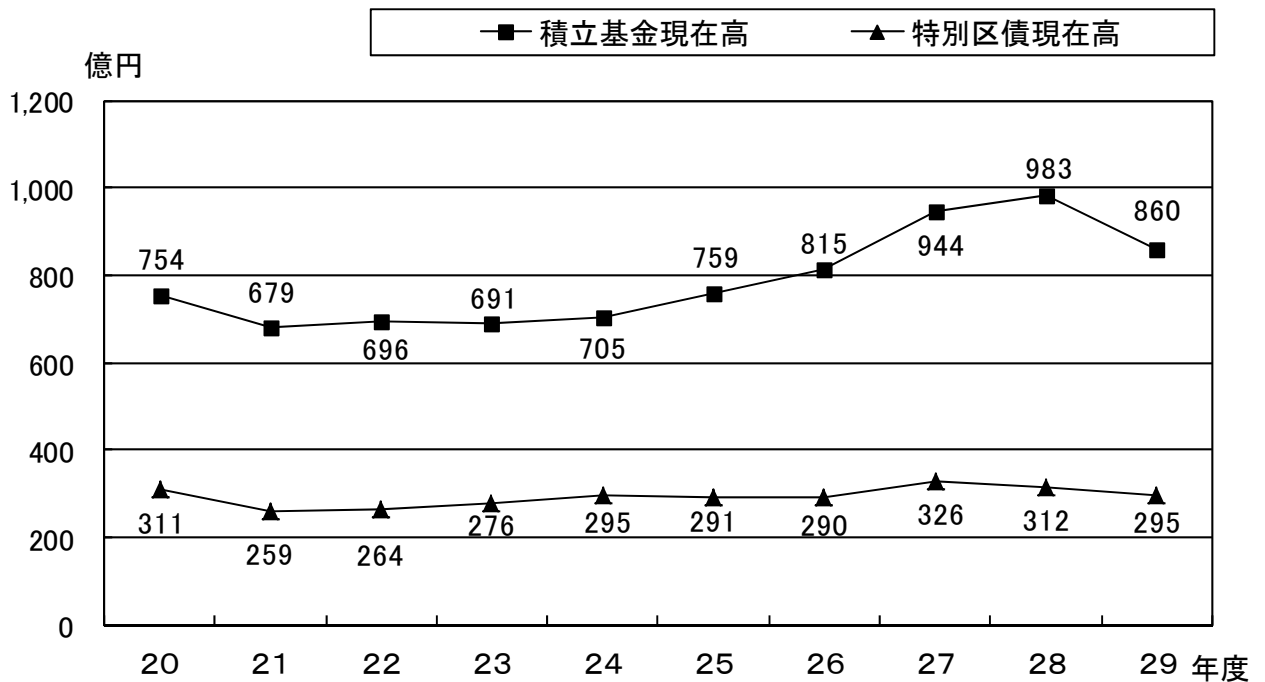
(単位:億円)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
積立基金	754	679	696	691	705	759	815	944	983	860
特別区債	311	259	264	276	295	291	290	326	312	295

\*平成20年度から平成27年度までの金額は、決算額。

\*平成28・29年度は、年度末見込み額。

\*上記積立基金には、介護保険関連基金は含まれていない。



◇平成29年度は、年度間の財源調整を図るため、財政調整基金15億円、公共施設の改修や新たな施設整備のため、公共施設建設基金112億円、小学校の改修工事などに充てるため、学校施設改築等基金26億円など、182億円の基金を活用する。

### 3 歳出の抑制

事業の見直し等による削減額…………… 3億4,600万円

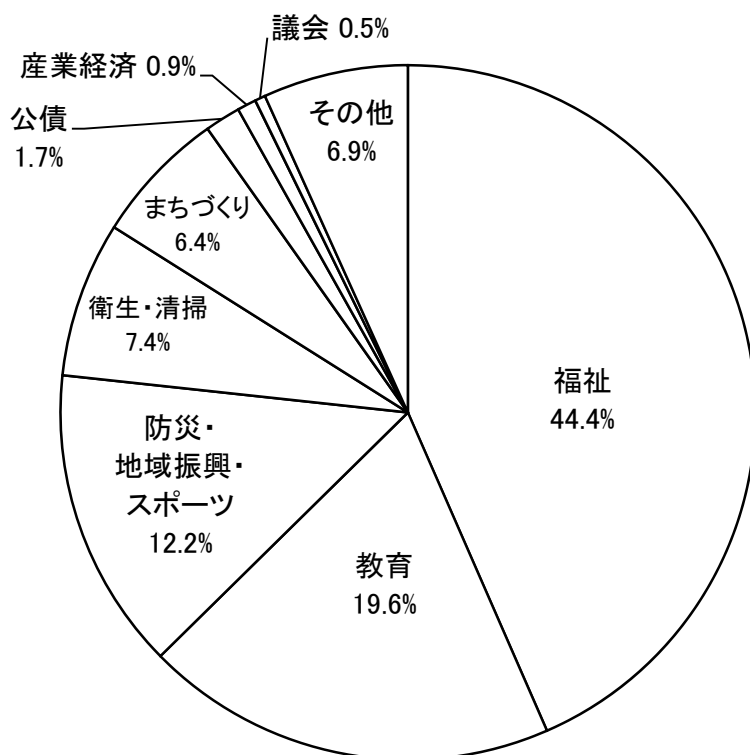
事業の見直しもしくは廃止した事業	3億4,600万円
住宅修築資金の新規あっせんの廃止等	9,000万円
小・中学校の用務の委託化	4,000万円
区立保育園の民営化	2,700万円
ごみ収集運搬の見直し	1,700万円
学童クラブの公設民営化	1,300万円
小学校の警備の委託化	900万円
女性福祉資金の新規貸付の廃止	800万円
その他の見直し及び廃止	1億4,200万円



## 4 区民一人あたりの平成29年度歳出予算額

### 【区民一人あたりの歳出予算額の内訳】

目 的	費 目	金 額	構成比
高齢者や子育て支援など福祉施策に	民生費	175,097 円	44.4%
学校教育や図書館などに	教育費	77,355 円	19.6%
防災対策や地域振興、スポーツ振興などに	総務費	47,888 円	12.2%
健康診断や母子保健、環境・清掃事業に	衛生費	29,336 円	7.4%
道路・公園の整備やまちづくりに	土木費	25,373 円	6.4%
特別区債の償還に	公債費	6,864 円	1.7%
商工業や観光の振興、消費者保護などに	産業経済費	3,476 円	0.9%
議会の運営のために	議会費	1,832 円	0.5%
その他	他会計への繰出金等	26,930 円	6.9%
合 計		394,151 円	



【参考】 \*区民一人あたりの特別区民税：90,543円（平成29年度当初予算）

\*人口：506,511人（平成29年1月1日現在、住民基本台帳調）



平成29年2月2日

江東区 政策経営部 広報広聴課 報道係

03-3647-2363 (直通)